第47巻3号2023年6月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2023 6月号

ヘレン・ケラーの灯火
Nippon Lighthouse

掲 示 板

「ガイド体験＆ボランティア情報交換会」を開催

ボランティア友の会では例年「ガイド体験会」を開催しています。今年度は、視覚障害の方への適切な声かけと手の貸し方の基礎を学ぶことに加えて、点訳、音訳、対面、電子書籍、音声解説、図書貸出等、各係のボランティア活動の紹介と各係のボランティア同士の交流・情報交換を行うことになりました。ご自分が取り組んでおられる活動以外の様子を知る絶好の機会ですので、ぜひご参加ください。

日時　７月18日(火)13時～15時30分
場所　当館４階会議室と当館周辺
講師　当館職員・各係のボランティア代表
申込　３階総務係(電話06-6441-0015)
申込締切　６月30日(金)

「テキストデータ製作講習会」を7月開講

当館で活動していただく電子書籍ボランティアを養成するため「テキストデータ製作講習会」を開講します。OCRソフトと合成音声を使用し、誤字・脱字のないテキストデータを作成するためのノウハウと校正のポイントを講習します。

日時　７月27日(木)と8月10日(木)の２日間
　　各日10時～16時
事前説明と事前試験　6月29日(木)午前中
定員　８人程度　　受講料 1,000円(資料代)
申込　当館HP(http://www.lighthouse.or.jp/iccb/)で要項をご確認の上、６月15日(木)必着でお申し込みください。
問合せ　当館電子書籍ユニット(06-6441-1035)

専門点訳講習会「マンガ点訳コース」を開講

毎日新聞大阪社会事業団との共催で標記講習会を実施。点訳ボランティアとして活動中の方を対象に、点訳事例を交えながら課題に取り組み、マンガ点訳の面白さ、難しさを体験します。

日時　7月13日～27日の毎木曜日の全３日
　　各日10時～15時
定員 15人　　受講料 1,200円(資料代)
申込　当館点字製作係(電話06-6441-1028、Eメールtenji@iccb.jp)に要項を請求の上、６月30日(金)必着でお申し込みください。

６月の休館・休室について

６月８日(第２木曜)＝エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は書庫･在庫整理日のため休室。

拡大掲示板を３頁に掲載。続けてご覧下さい。

読者と共に成長して、まもなく８年
『アミ・ドゥ・ブライユ』の“卒業生”から嬉しいお便り

当館が2015年10月に創刊した児童向け点字情報誌『アミ・ドゥ・ブライユ』(隔月刊)が４月で46号を数え、まもなく満８年を迎えます。「点字」指定のご寄附を基に、当館の点訳ボランティア３名が記事の選択・点訳・校正を行い、印刷は点字情報技術センターが担当。読者本人の申込みを原則として、全国の小・中・高校生など70人と視覚特別支援学校など42校に無料で届けています。この８年間に読者はどんどん成長し、初期から読んでくれていた子ども達は中学・高校を卒業し、次のステップに進んでいます。節目に差し掛かった読者からは毎年、本誌を「卒業します」という挨拶のお手紙をいただきます(そして、新たな読者が加わります)。このようにお手紙をいただくことで、本誌をどのように読んでくださっているかが伝わるとともに、本誌も読者に支えられてここまで続いてきたということが再認識され、とても嬉しく思います。この春も、本誌“卒業”のお手紙を頂戴しましたので、その内の３編を皆様にご紹介します。(点字製作係主任　奥野真里)

Ａさん(女子)

こんにちは。いつも楽しく読ませて頂いておりました。私は４月から高校３年生になります。そろそろ愛読を卒業したいと思っています。

『アミ・ドゥ・ブライユ』は、地方盲(地方の視覚支援学校)に通い、友人が少なかった私に、本好きが私だけではないんだ、仲間がいるんだと思わせてくれました。約10年間お世話になりました。愛読の卒業を手紙にてお伝えさせていただきます。ありがとうございました。

Ｂさん(男子)

いつも『アミ・ドゥ・ブライユ』を送っていただき、ありがとうございます。

私が『アミ・ドゥ・ブライユ』に出会ったのは、小学生のころでした。その私もこの４月より大学生になります。長い間楽しませていただきましたが、このタイミングで一区切りをさせていただきたいと思います。

私がいただいているこの貴重な１冊を、ぜひまた年下の世代の子に回してあげてほしいと思います。長い間お世話になり、ありがとうございました。

Ｃさん(女子)

いつも楽しくて、新たな発見ができて、ためになる『アミ・ドゥ・ブライユ』を届けてくださり、ほんとうにありがとうございます。毎回の内容がすごく楽しみで、いつもわくわくしながら読ませていただいています。

私は料理や工作が好きで、「つくっちゃお！」に載っていた料理を作ったこともあります。自分で作り方を調べてみることもあるのですが、ネットでは写真での説明が多く、なかなか一人では理解しきれていないところがあるのですが、「つくっちゃお！」ではすべて言葉で説明してくださるのでわかりやすく、自分一人でできることへのうれしさが大きかったです。

そんな、いつも『アミ・ドゥ・ブライユ』で楽しませていただいている私ですが、高校生になってからなかなか読む時間が取れなくなってしまいました。楽しいので卒業というのは考えていなかったのですが、感想などを送ることができていなかったり、来年受験を控えていることから、ひじょうに寂しいのですが、今回の号をもって卒業させていただきます。

友達から紹介してもらった『アミ・ドゥ・ブライユ』、私も友達に紹介して『アミ・ドゥ・ブライユ』トークで盛り上がっていました。私はもう読めなくなってしまいますが、また友達に広めていきたいと思います。今まで楽しませてくださり、ほんとうにありがとうございました。

『アミ・ドゥ・ブライユ』最新号の内容

(2023年４月15日発行・第46号)

●**なにこれ？**＝超高層ビルどんどん建設中
　※「高層ビルの高さ比べ」の図あり

●**ニュースイッチ**＝WBC　３大会ぶり世界一
　日本優勝／生涯ゴールデンスラム達成し引退
　国枝さん「最高のテニス人生」／新型コロナ

５月８日から５類でどうなる？／新しい単位「クエタ」「ロナ」「ロント」「クエクト」が決定／中国の人口61年ぶりに減少／「サッカーの王様」元ブラジル代表ペレさん死去／和歌山県で、恐竜化石を含む地層を発見！／キラキラネーム 戸籍法に制約案／ビックリ！ほっこり！人気を呼ぶ「おそい」レジ

●**彩り鮮やか！**＝瀬戸内海のかんきつの島を訪ねて

●**ときめきトピックス**＝いつでもどこでも一緒「たまごっちスマート(Tamagotchi Smart)」／木製パズルを組み立てながらレッツ！昆虫採集「つくるんです ポケットバグズ」／クイズで科学がもっとおもしろくなる！特別インタビュー

●**なるほどファイル**＝「ミ」と「ファ」の間と「シ」と「ド」の間に半音がないのはなぜ？／現代にマンモスをよみがえらせることは可能ですか？／食パンはなぜまっすぐちぎれる方向とちぎれない方向があるの？　※「食パン」の図あり

●**特集**＝冷凍食品
※「冷凍前後の分子のようす」の図あり

●**野菜＆果物クイズに挑戦**

●**おもしろ れきばな**＝「芥川龍之介」

●**ラッキーつぶつぶ**(読者が今“はまって”いることをシェアする投稿欄)

●**新コーナー　どっち・どっち?**＝「たけのこの里」VS「きのこの山」

●**脳トレクイズ**＝「これ、長くね？」　※図あり

●**読者のページ**

拡大掲示板

新型コロナ5類移行後の感染対策について

当館では５月８日から新型コロナウイルスが５類に引き下げられたことに伴い、館内の感染対策を見直しました。特にボランティアの皆様には、以下のご確認とご協力をお願いします。

＊体調が悪い時や発熱が疑われる場合は来館をお控え下さい。

＊来館時にお願いしてきた、来館表の記入や検温は終了します。

＊館内設備のアルコール消毒は中止します。各フロアのアルコール消毒液設置は継続しますので、来館時はこまめな手洗いと手指消毒をお願いします。

＊会話したり、発声をする際はマスクの着用をお願いします。

＊５階エンジョイ！グッズサロンへのご来館は事前に電話かメールでご予約をお願いします。

「日本ライトハウス展」でガイドのご協力を！

当館では９月29日(金)・30日(土)、天満橋のOMMビル２階展示室で「日本ライトハウス展～全国ロービジョンフェア2023」(読売光と愛の事業団共催)を開催します。これは、毎年開催してきた西日本最大級の視覚障害者用具・機器展で、３年ぶりに実施した昨年は、1,300人に上る視覚障害者とご家族、関係者の方々が来場され、喜んでくださいました。昨年はコロナ感染拡大を防ぐため、職員だけで運営しましたが、今年は展示場のガイド(手引き)をボランティアの方々にもお願いしたいと思います。実働時間は３時間余りの予定です。視覚障害の方と直接交流し、最新情報も体験できる貴重な機会ですので、健脚な方はぜひご協力をお願いいたします。詳しくは次号以降で改めてお伝えします。(竹下)

加藤登紀子コンサートに栗山龍太さんが出演

大東市立総合文化センター(サーティホール)主催の「加藤登紀子コンサート2023～百万本のバラ物語」が６月24日(土)16時から同センターで開催。横浜市立盲特別支援学校教員で、盲導犬アンジーと共に活動しているシンガーソングライター栗山龍太(りょうた)さんがゲスト出演します(先月号で紹介した「見えないボクと盲導犬アンジーの 目もあてられない日々」の著者)。大阪出身の栗山さんを応援するため、日本ライトハウスと点字毎日が後援。チケットは全席指定で、前売Ｓ席５千円、Ａ席４千円、25歳以下の学生１千円。当日券はプラス500円。障害者手帳所持者は500円割引。障害者手帳をお持ちの視覚障害者は同行者１名無料。お問合せ、前売券の購入は電話072-873-0030のサーティホールまで。

藤野高明氏の記念講演「唇と耳で読む読書」を聴いて

４月28日午後、玉水記念館で開催したボランティア友の会の2022年度交流会は、ボランティアと職員を合わせて約90人が参加し、楽しいひとときとなりました。記念講演では、戦災で両手と両目の視力を失いながらも点字を唇読で習得し、教員となり、障害者の権利運動に打ち込んでこられた藤野高明さんを講師に迎え、点字と録音で読書することの楽しみを中心に、盛りだくさんなお話を拝聴しました。当日の講演を聞いた感想を点字製作係の大下歩職員に書いてもらいました。

声が大きい！藤野さんが話し始めたときの、それが第一印象でした。明るく張りがあり、つい引き込まれてしまいます。さすが、盲学校の教壇に30年立ってこられた方だなと思いました。

藤野さんのお話の中で特に印象に残ったことが二つあります。一つは自己紹介です。「私の名前は藤野高明です。小さい頃からずっと、目の見えない子、手のない子と呼ばれてきました。私の名前より先に、障害が独り歩きするんです。私にはちゃんと名前があるのに、なんでそう呼ばれるんだろうと思っていました。」

なるほど。そういえば私も職場や街中で、白杖を持った他の人と間違われることがよくあります。しかも、人違いの相手は私よりずっと年上だったり、男性だったり(笑)。ある程度親密な仲になるまでは、白杖という私の一つの特徴が名前はもちろん、性別や年齢といった私の他のすべての属性を上回るインパクトを持って、周囲の人の頭に焼き付けられているんだなと気づく瞬間です。

そして私自身も、人のことは言っていられません。視覚以外に障害があったり、外国の方だったり、とにかく自分と違う属性を持っている人に出会ったら、やっぱり一番そこを意識してしまいます。

自分が間違われる分には面白い話のネタぐらいにしか思っていない私ですが、藤野さんが生きてこられた時代からしてもそういったことがもっともっと頻繁だっただろうと想像すると、ちょっと息が詰まるような心地がしました。そして、ご自分の名前をことさら強調されるお気持ちはわかるような気がしました。

お話の中でもう１つ印象に残ったのは、読書に対する藤野さんの情熱です。唇で点字を読まれることは有名ですが、音声デイジーやカセッ

トテープでも膨大な量の本を読んでいらっしゃるそうです。しかも、朗読されたボランティアさんのお名前も覚えていて、一度読んだ本でも、違う方の朗読版が出たらまた読みたくなるのだとか。本の話になると止まらなくなり、「唇と耳でこんなにたくさん本を読める時代が来るなら、もっともっと長生きしたい」とおっしゃっていたのが心に残りました。

全体としてとてもはつらつとした藤野さん。途中で引用された「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」という言葉を体現し、好奇心にあふれていらっしゃるように見えました。でも、もしかしたらそれは、障害を負ってからなかなか学校に受け入れてもらえず、20歳で中学生になり、通信制の大学で教員免許を取られるなどした苦労があるからこそなのかもしれません。新しいことを学んだり、学んだことを人に伝えたりする喜び、そしてそれが決して当たり前ではないのだということを、私は藤野さんのお話から教わりました。

藤野高明さん　1938年、福岡市出身。７歳の時、不発弾の爆発で両目と両手を失う。13年間の「不就学」を経て、大阪市立盲学校(現大阪府立北視覚支援学校)に入学。大学卒業後、34歳で教職に就き、同校高等部で約30年間勤務。2021年、点字毎日文化賞を受賞。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2023年4月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

4月分完成点字図書
5タイトル28冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

おうち茶道のすすめ
(水上麻由子) 3冊
点:髙木智佳子
校:G校正　岡田允子

古代中国の日常生活(荘奕傑) 5冊
点:生嶋貞夫
校:河村牧子　岡田允子

財産消滅(岡信太郎) 3冊
点:川崎安恵
校:山下慧子　橋詰玲子

タイムマシーン寿限無号
(儀賀保秀) 4冊
点:坂和員子
校:G校正　橋詰玲子

日本怪異妖怪事典 近畿
(朝里樹監修 他) 13冊
点:飯原友美　永薮直子
西山和子　細見康子
校:G校正　平野 健

♠ 録 音 製 作 ♠

4月分完成録音図書
18タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

お父さん、お母さんが知って
おきたいダニとアレルギーの話
(高岡正敏) 6:17
音:佐藤保子
校:立上敦子　酒居よし枝
松井喜美代
編:本村英子

警視庁公安部外事課
(勝丸円覚) 5:16
音:奥 幸子
校:辻野玲子　土井賀津子
編:岩田真智子

漢方がみちびく心と体のレジリエンス<回復力>
(萩原圭祐) 8:17
音:佐々木マス子
校:片岡珠子　久保洋子
前田元子
編:荒木良子

ココロとカラダに効くハーブ便利帳
(真木文絵 他) 8:41
音:野崎淳子
校:久保洋子　松井喜美代
編:八田芙未子

古代ローマの日常生活
(P・マティザック) 10:14
音:片畑令子
校:有末 道
音・校:西田芳美
編:辻野玲子

女帝の古代王権史
(義江明子) 11:24
音:杼村明子
校:髙梨智子　松井喜美代
編:寺下千秋

スーツは経費で落ちますか?
(高橋浩之) 6:17
音:二宮真理
校:平田恵美子　松井喜美代
編:辻野玲子

杉原千畝とコルベ神父
(早乙女勝元) 7:20
音:福池恵理子
校:小林幸子　栗本慶子
本村英子
編:辻野玲子

スター・ウォーズ禁断の真実
(ﾀﾞｰｸｻｲﾄﾞ)(高橋ヨシキ) 6:42
音:弘津千加子
校:三原佳子　西田芳美
編:柳本絹子

戦国武将の土木工事
(豊田隆雄) 5:45
音:有末 道
校:植田美穂子　桂 公子
松井喜美代
編:山崎千代子

空を見てますか… 11
(池辺晋一郎) 11:43
音:竹下正子
校:宮 清子　胸永幸子
植田美穂子　石原英子
松井喜美代
編:吉川順子

空を見てますか… 12
(池辺晋一郎) 11:01
音:谷澤耀子
校:岡 香代子　吉田典子
米谷治子
編:坂口幸子

空を見てますか… 13
(池辺晋一郎) 7:31
音:谷澤耀子
校:岡 香代子　上田道子
阪越紀子
編:前田元子

たん・たんか・たん
(美村里江) 5:43
音:嶋林茂子
校:中澤康子　浜本裕子
編:佐藤保子

「トイレが近い」人のお助けBOOK
(関口由紀監修) 2:35
音:矢切素子
校:柳本絹子　土井賀津子
浜本裕子
編:濵 欣子

なんとなく、仏教(木村文輝) 4:52
音:谷澤耀子
校:岡 香代子　矢切素子
八田芙未子
編:下山とよみ

もしもカメと話せたら
(ペズル) 4:12
音:下山とよみ
校:辻野玲子　松井喜美代
編:羽淵雅子

もてなしとごちそう
(中村安希) 9:03
音:山口和葉
校:久保洋子　髙岡博子
伊東晴子
編:辻野玲子

♥ プライベート製作 ♥

点字図書

楽譜点訳「The Wind Blows Where It Will」
1冊
点:田中伸子
校:前田美代子

「金平糖」第169回 短歌サロン 1冊
点:待田敏彦
校:若林安也子

最澄と天台教団
（木内堯央） 3冊
点:春江由美子
校:谷村純子　G校正

録音図書

カノッサの屈辱　3:05
音・編:三原太郎

『つばさ』『あなたの空を翔びたい』
楽譜音訳　1:02
音・編:長井純子

2023年プロ野球メンバー表 3:50
音・編:辻野玲子

ホリスティック医学の生みの親
エドガー・ケイシー療法のすべて
series4(光田秀著)　7:16
音・編:川添美智子

ミュージカルロマンス
「フィレンツェに燃える」

ショーグルーヴ
「Fashionable Empire」1:56
音・編:浜本裕子

◆ 定 期 刊 行 物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2023年5月号
発送:木下正義　中島小夜子
中島千恵　西垣泰子　山田一弘

『読書』2023年5月号
デイジー版　1:16
音:寺下千秋　校:下山とよみ
発送:井川倭文子　板波キミ
並木昌子　宮崎ナオヨ　宮野興子

『JRニュース』2023年5月号
点字版　4冊
点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～知っておきたい身近に潜む詐欺』2023年5月号
デイジー版　0:11
音:寺下千秋　校:下山とよみ

『子供の科学』2023年3月号
デイジー版　3:32
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 澤田美那子
夛田禮子　田中英子　土井明美
宮 清子　吉田 薫

『サイエンスかわら版』2023年3月号
デイジー版　4:14
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
大屋敦子　阪本美紀　橋本万里
畑 豊弥　濵名あきよ　溝渕久美子
本村英子

『日経パソコン』2023年4月号
デイジー版　3:49
音・校・編:情報文化センター
石井那智子　岡村佳子　小倉玲子
桂 公子　金井典子　川端真知子
北川温子　木村純子　上月直子
小林幸子 小林万智子 小森佳津子
阪本由美子　佐藤圭子　佐山敦子
嶋川真理子 下山とよみ 寺下千秋
寺田美枝子　西村郁子　二宮真理
橋本万里　平田惠美子　福島博子
水谷和子　溝渕久美子　目連雅子

『英語よもやま通信』2023年5月号
デイジー版　2:28
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
伊東晴子　中島美穂　中島 睦
西田芳美 西和田惠子 弘津千加子
前田元子　眞津野秀子　山本 香

『鍼灸柔整新聞』2023年4月10日号
デイジー版　1:32
音・校・編:情報文化センター
「東洋医学チーム」
植田美穂子　大坂陽子　金井典子
川端砂代子 関岡直江 濵名あきよ
前田元子

『週刊新潮』デイジー版
◆2023年4月6日号　9:23
今岡松代　榎原真理　岡村勝彦
音無幸子　上田啓子　河原眞知子
衣田智恵美　木村加代　黒河典子
中村千賀子　中村直美　中本和代
西田文子 野村美穂子 兵頭つね子
深津綾子　福田佳代　藤原雅子
森嶌美穂
編:中本和代

◆2023年4月13日号　10:17
畔田文恵 稲田至功子 上原多美子
大坂陽子　大橋恵子　岡﨑節子
加藤和夫　上村裕子　久保諄洸
阪本由美子　佐藤公平　澤井 稔
白井律子　寺下千秋　永井憲子
西村早斗子　橋村惠子　濵 洋一
林 由子　福井栄子　増田典子
八十嶋敦子 山下幸子 山本スズ子
山本晴代 和田ゆう子 和布浦眞里子
編:佐古智子

◆2023年4月20日号　10:23
荒木節子　岩谷友子　越智真弓子
澤田和代　清水百世　新熊美衛子
髙久俊子　田渕浩子　寺西竹子
中岡兢子　中村洋子　成田次雄
成田由起　西村道子　西本美加子
西山トシ子　橋本明子　橋本佳子
服部秀美　星子鐵郎　前田元子
松原和子　松本昌子　山下 豊
山田栄利子
編:デイジー大阪

◆2023年4月27日号　10:04
有川美津子 大久保美弥 大島幸枝
大塚しづ子　岡﨑節子　神谷勉子
川添美智子 川端砂代子 北元直子
久下悦子　小池雅子　國分清子
阪本美紀　佐藤公平　澤井 稔
沢田玲子　地福延代　嶋津美香
鈴木栄二　髙田雅子　髙橋孝子
武市敦子　竹内清子　玉置明美
田宮加代　地上博子　坪田捷子
冨田久美子 中道由美子 西田千波
橋本寿美礼 兵頭賢一 平田恵美子
廣田あけみ 弘津千加子 松浦洋子
山下美穂　和布浦眞里子
編:尾島和代

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
　サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
　「草笛会」
グループN-BUN
デイジー大阪

☆ 電子書籍 ☆

◆プライベート製作
視覚障害者と職業
　平林隆雄
経営生きもの論
　足立佐紀子

◆テキストデータ
ONE BOOK ONE LIFE
　1983年1月号
　山本町子

◆テキストDAISY図書
MONTHLY “日本一”明るい
　経済新聞4月号
　テキスト化･DAISY編集:
　　越智真弓子
ともに生きるための演劇
　テキスト化:足立佐紀子
　　大里いずみ
　DAISY編集:大里いずみ
　DAISY校正:加藤珠子

❦ 館内お手伝い ❦

図書･情報サービス
板波キミ　板谷照美　上田敬子
片岡忠克　木村謹治　帰村千恵
小寺高子　田間泰子　塚本紀子
逸見恵子　待田敏彦　宮嶋昌代
森本益子　渡邊洋子
［茨木市バラの会］
堂 晴美　片倉康子　永崎利恵
村野登紀代　吉田 充　吉田幸子

整理･情報サービス
板波キミ　板谷照美
鱗星千恵子　逸見恵子

電子書籍
池尻三千子　西村佐世子

◆4月の貸出実績
点字　156tl　DAISY 3125tl
テープ　8tl
★4月の人気貸出図書★
（当館製作図書。順不同。）
【点字図書】
ファイア･サイン(佐藤青南)
薬日本堂のおうち漢方365日
　(薬日本堂監修)
佐藤優の地政学入門(佐藤優監修)
夫婦別姓(栗田路子 他)
【録音図書】
ニポラチャンネル 音声版
　第1回から第60回まで
ゆら心霊相談所 4(九条菜月)
逆転無罪!日本史をザワつか
　せた悪人たち(河合敦)
これだけは知っておきたい
　ほんとうの昭和史(渡部昇一)

❣ 対面リーディング ❣

兄井寿美子 阿部美枝子 井上惠子
江口不二子　岡﨑節子　岡﨑博子
島 美緒　高橋美代子　野村京子
畠田幹子　細井昌子　森田幸子
脇野由起子　和布浦眞里子
4月　利用者10人･21件

『対面リーディング通信』編集
伊東晴子　木村謹治　澤井 稔
細井昌子

✎ 音 声 解 説 ✍
(ボイスぷらす)

◆シネマ･デイジー
「ステージ･マザー」
ナレーション:尾崎一恵
歌詞朗読:廣野美代子
台本制作･編集:
　尾崎一恵　川添美智子
　北川富美代
台本校正:藤井倫子

✉ パソコンサポート ✉
(ボイスネット)

【4月実績】
週報:和田眞由美
HP更新:中条正信

◆ボランティア友の会バザー物品のご提供者

40人近い皆様から多数の品物をご寄贈いただき、まことにありがとうございました。バザーの売上はご寄附を含めて、52,250円に達し、友の会の活動資金に充当させていただきました。(50音順・敬称略)

こまものや六方
井川倭文子 池尻三千子 池本滋子
岩崎千代子　遠藤敬子　小倉玲子
加尾美千子　加藤珠子　金井典子
川端砂代子　北井亜矢　倉林恵子
高井園子　田中恵子　田間泰子
地上博子　寺田美枝子　中川春美
中村華代　西垣泰子　西田由美
野上満智子　野間絹子　橋村恵子
廣野美代子 福池恵理子 藤井倫子
逸見恵子　前田元子　待田敏彦
松谷富子　宮崎ナオヨ　吉田 薫
和田啓子　渡邊洋子　匿名1件

❋ ご 寄 附 ❋

宗教法人高野山真言宗社会人権局
日本出版販売労働組合
（敬称略をご容赦下さい）

《一ツ橋綜合財団助成事業》
アクセシブルな電子書籍、シネマ・デイジー等、当館の先端的なメディアは公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

今年度の点訳・音訳等講習会がスタート

当館の点訳ボランティア養成講習会･初級コースが５月12日に開講しました。９名が受講し、７月28日まで11回の講習の後、中間試験を経て、中級コースに進んでいただきます。

また、音訳ボランティア養成講習会(１)は４月12日に受講者13名で開講。８月２日まで16回行われ、同講習会(２)に進んでいただく予定です。さらに、同講習会(３)は10名が受講し、前期課程が４月５日から７月19日まで全15回、その後、後期課程が８月頃から開始予定です。

この他、音声解説のボランティアを養成する「ボイスぷらす」の講習会も５月11日、久しぶりに開かれ、４名が受講。課題修了後、７月から活動に加わっていただく予定です。

第26回ICTサポートボランティア講習会が開講

当館と毎日新聞大阪社会事業団共催の第26回ICTサポートボランティア講習会が５月６日開講しました。スマホ、サピエ、インターネットなどの講習を、視覚障害者対象のICT機器の体験講習会「ICTサロン」を兼ねて、来年１月まで年間10回行うもので、初回はiPhone活用講習会に２回、合計10名の方が参加されました。

人事異動のお知らせ

当館サービス部では５月16日付で職員を採用しました。よろしくお願いいたします。

サービス部機器・用具係(エンジョイ！グッズサロン(週２日勤務)＝松岡　和(むつみ)

－－－－－－－－－－－

ボランティア友の会世話人会報告

5月11日(木)10:00～12:30

出席者:池本、大安、奥、尾崎、梶原、小寺、阪本、嶋林、山田。館から竹下、久保田、谷口、徳嶋。

<館からの報告>

・人事異動について

・チャリティーコンサート等について

・日本ライトハウス展について

・コロナ5類移行後の館の対応

<協議事項>

・ボランティア友の会総会･交流会の振り返り

・ガイド体験会の検討

<その他>

・館の概要説明と館内見学を実施

<次回>　7月18日(火)10:30～

【お詫び】前号に記載したボランティア友の会の活動報告、3月30日(木) 第7回世話人会の日程に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

あ ゆ み

【５月】

11日 ボランティア世話人会

12日 点訳ボランティア養成講習会開講

13日 オープンデー(館内見学日･10人)

17日 見学:大阪保健福祉専門学校(５人)

18日 専門点訳講習会「点字の世界を追求する触知コース」開講

19日 法人新任職員研修１回目(７人)

23･24日 日本ライトハウス理事会･評議員会

30日 法人新任職員研修２回目(６人)

予　定

【６月】

８日 サービス部休室(書庫･在庫整理日)

10日 オープンデー(館内見学日･要予約)

14日 見学:全視情協新任管理者研修会

22日 見学:福島アイクリニック

23日 わろう座映画体験会「ステージ・マザー」

29日 消防訓練(昼休み、AED体験)

編 集　雨の季節は、心もどんよりしますね。

後 記　そんなときは朝起きたらまず、深呼吸することを習慣にしてみませんか。そして自分の呼吸に意識を向ける時間を作ってみましょう。“おなかで吐く”がポイントです。また、昔はため息をついたら幸せが逃げていく、と言われていましたが、憂鬱なときにため息をつくことも必要です。お風呂の湯舟につかったり、お味噌汁やおうどんのお汁をすすったりしたあと、思わず「はぁぁ～～」と言って息を吐いていませんか。それもストレスを発散し、免疫力アップに繋がっているはずです。私は、お風呂は熱めのお湯が好きですが、超猫舌なので、熱々の飲み物は苦手なのですが。(一)

ONE BOOK ONE LIFE(ワン ブック ワン ライフ) 2023年6月号

発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター(館長 竹下 亘)

住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp

表紙絵　かたおか朋子

発行日　2023年6月1日

定　価　1部100円　　年間購読料1,000円

公式SNS はじめました　twitter　Instagram　YouTube